

3 歴史地震等の記録の収集、整理及び再評価

3-6 考古遺跡における液状化痕データの収集並びにデータベース化

実施機関：産業技術総合研究所

■平成 21 年度

- ・東京都・神奈川県・山梨県等の考古遺跡における液状化痕データの収集・整理及び試料分析を行う。
- ・要件定義、概念設計、データの規格化、データモデル構築等、液状化痕データベースの基本設計を行い、プロトタイプを試作する。

■平成 22 年度

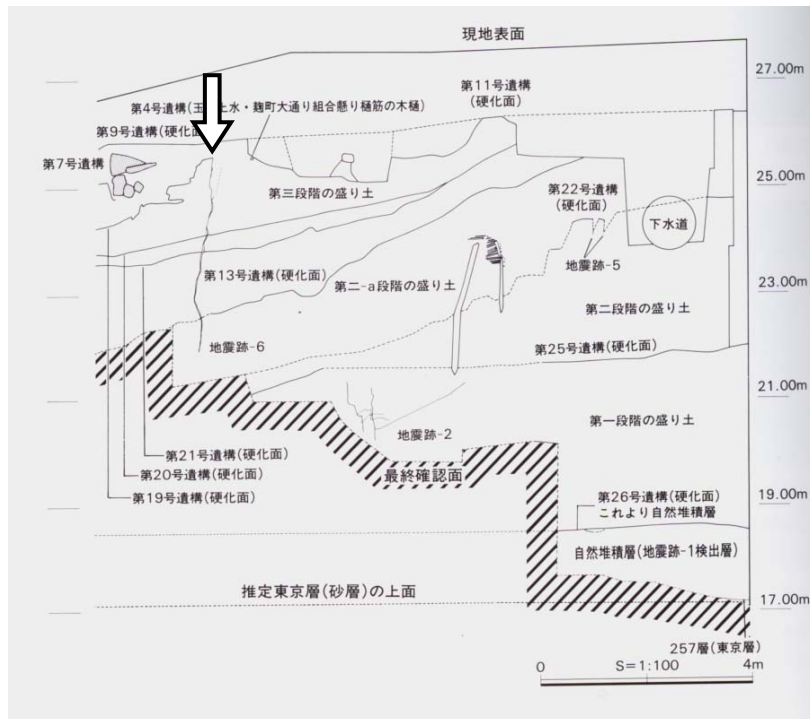
- ・埼玉県・群馬県・千葉県等の考古遺跡における液状化痕データの収集・整理及び試料分析を行う。
- ・液状化痕データベースの入力システムを構築し、データの試験入力を行うと共に、検索システムの試作を行う。

■平成 23 年度

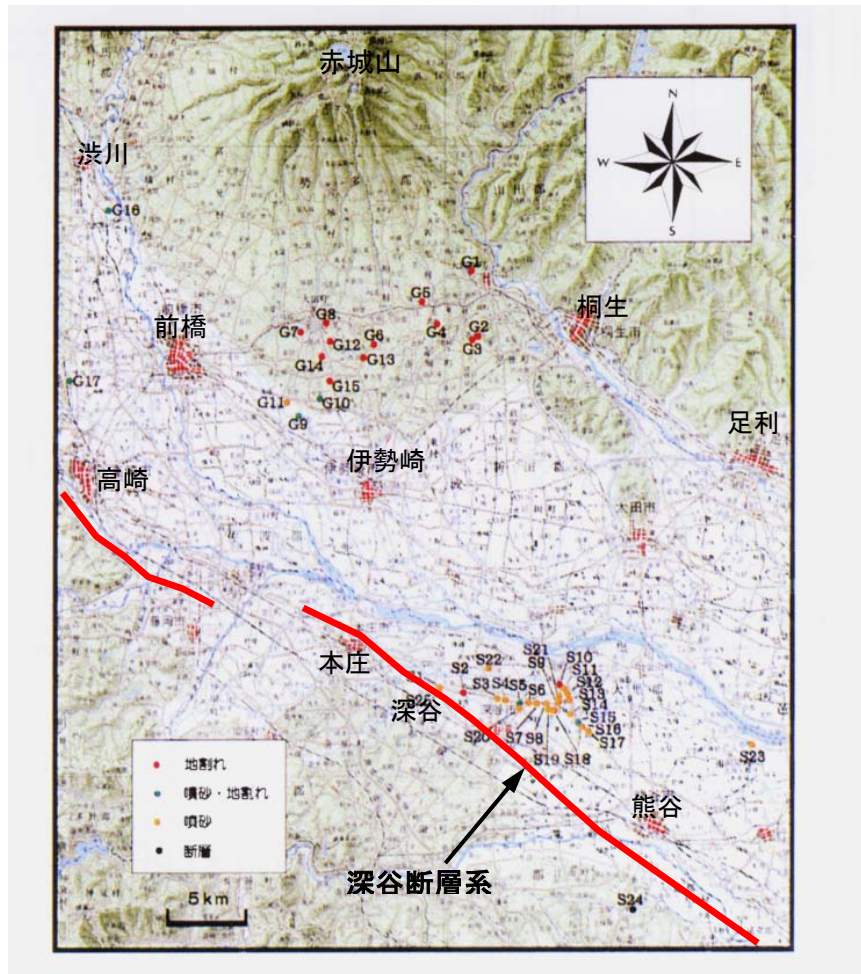
- ・首都圏域の考古遺跡における液状化痕データの補足的な収集・整理及び試料分析を行う。
- ・液状化痕データベースの本格入力を行うと共に、検索システムを完成させ、Web 公開モジュールの試作を行い、データベースの試験的公開を行う。

所要経費

年度	19	20	21	22	23	合計
設備費	0	0	300	0	0	300
人件費	0	0	1,507	1,507	3,014 (2人)	6,028
運営費	0	0	7,193	7,493	41,986	56,672
一般管理費	0	0	1,000	1,000	5,000	7,000
合計	0	0	10,000	10,000	50,000	70,000

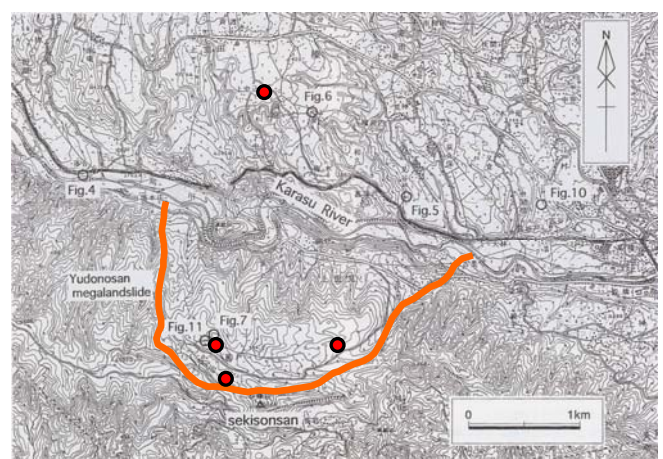
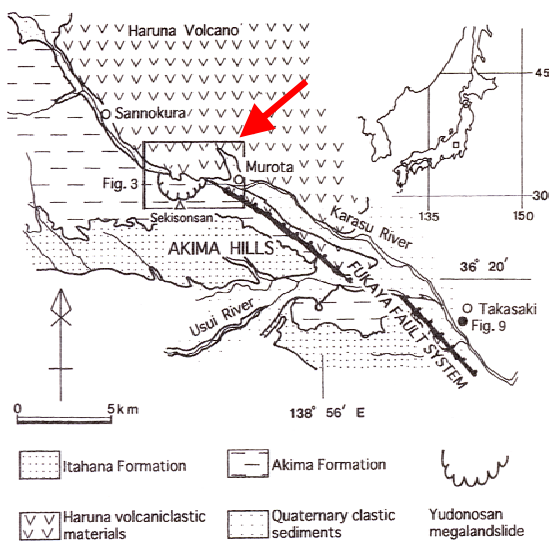


新宿区四谷1丁目付近の遺跡から検出された安政江戸地震
 によると推定される噴砂跡(上)と遺跡の断面図(下)
 帝都高速度交通営団地下鉄7号線溜池・駒込間遺跡調査会(1997)
 地下鉄7号線溜池・駒込間遺跡発掘調査報告書4-3
 「江戸城外堀跡 四谷御門外橋詰・御堀端通・町屋跡」



これらの地震痕跡の多くは、8世紀中頃～10世紀後半（818年（弘仁九年）の関東諸国の地震の発生を挟む時期）に形成されたと推定されている。

埋文関係救援連絡会議・埋蔵文化財研究会（1996）発掘された地震痕跡—埼玉県および群馬県—



群馬県烏川沿い湯殿山地滑りにおける818年関東諸国の地震による可能性のある液状化構造の分布（●、高浜信行・大塚富男、2001、地球科学55巻4号、217～226頁から転載）